

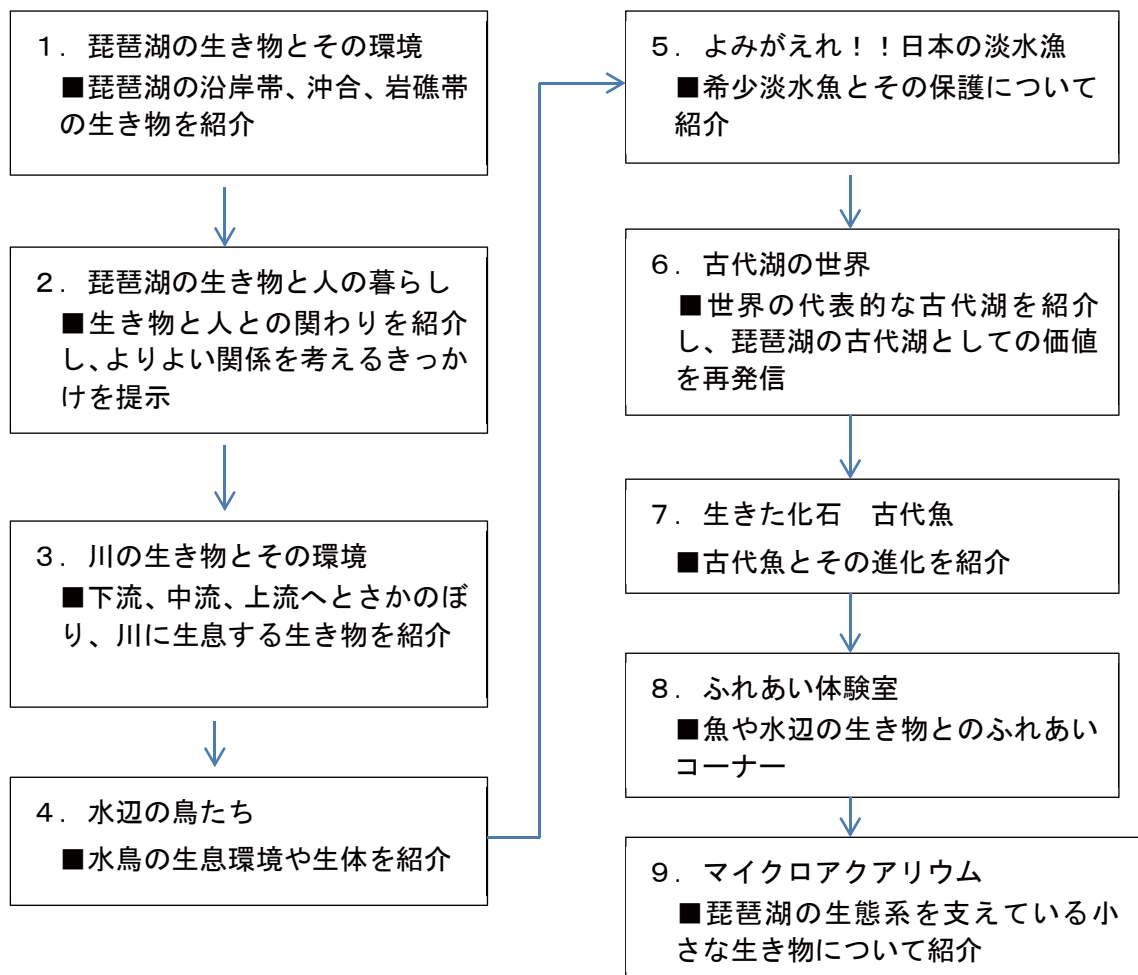
## (1)新展示のねらいと主な展示内容

【テーマ】琵琶湖地域のいま ～水中の生き物と私たち～

## 【新展示のねらいと全体構成】

琵琶湖に生息する様々な生き物を展示し、琵琶湖のもつ生物多様性や食文化などの「生き物と人のかかわり」を伝えます。また、季節によって違う生き生きとした姿やふだん目にする事のない小さな生き物などを紹介し、驚きと新たな発見を促し、琵琶湖の価値を発信します。

## 【展示の流れ】



## 【各コーナー展示のねらい】

## ①琵琶湖の生き物とその環境

沿岸帯、沖合、岩礁帯などの環境に生息する生き物を紹介し、そのすみかとしての琵琶湖の環境の多様性を伝えます。また、琵琶湖固有の生き物やその生態、また、魚の繁殖行動や、面白い習性をもつ魚などをトピック的に紹介するなど、変化のある展示を行います。

#### ②琵琶湖の生き物と人の暮らし

琵琶湖地域特有の漁撈、食文化、水辺遊び等、琵琶湖とその集水域にすむ生き物と人との関わりについて紹介します。また、外来生物問題などを紹介することで、琵琶湖と人とのよりよい関係について考えるきっかけを提供します。

#### ③川の生き物とその環境

琵琶湖に流入する川を遡上していくイメージで、下流域、中流域、上流域の生息環境とそこに生息する生き物を紹介します。特に下流域では、川を模した水槽に魚を漁獲するためのカントリーヤナを再現し、ヤナを上ろうとする魚の行動を展示します。また、季節によって、川に遡上し、産卵を行う魚とその産卵行動についても展示を行います。

#### ④水辺の鳥たち

カイツブリやカモ類など水辺に生息する鳥について、陸域と水域の両側の生息環境や、その行動や生態を紹介します。

#### ⑤よみがえれ!!日本の淡水魚

日本の各地で減少している希少淡水魚について、生体展示を行うとともに、減少した要因や希少淡水魚をとりまく現状を紹介します。また、国内では琵琶湖博物館にしか設置されていない希少淡水魚の系統保存を行う保護増殖センターの取り組みを紹介します。

#### ⑥古代湖の世界

世界一古い歴史をもつバイカル湖やアフリカ大地溝帯の湖など、世界の代表的な古代湖に生息する固有種を紹介します。琵琶湖も世界で数少ない古代湖の一つであることを紹介し、琵琶湖の価値を再発信します。

#### ⑦生きた化石 古代魚

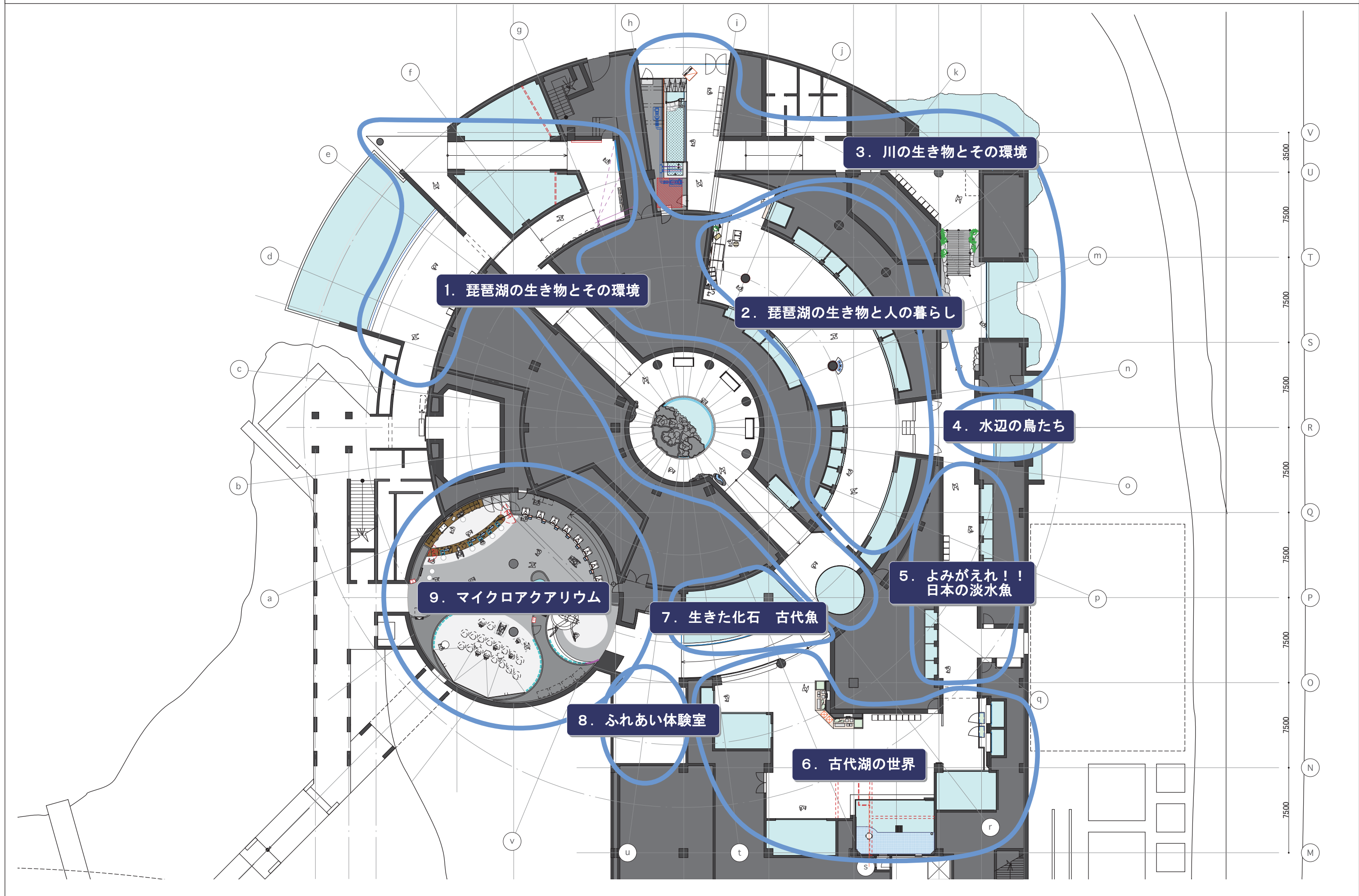
古い時代から形態を変えず今日まで残った古代魚として、チョウザメ類、ガー類を紹介し、魚類がたどってきた進化を紹介します。

#### ⑧ふれあい体験室

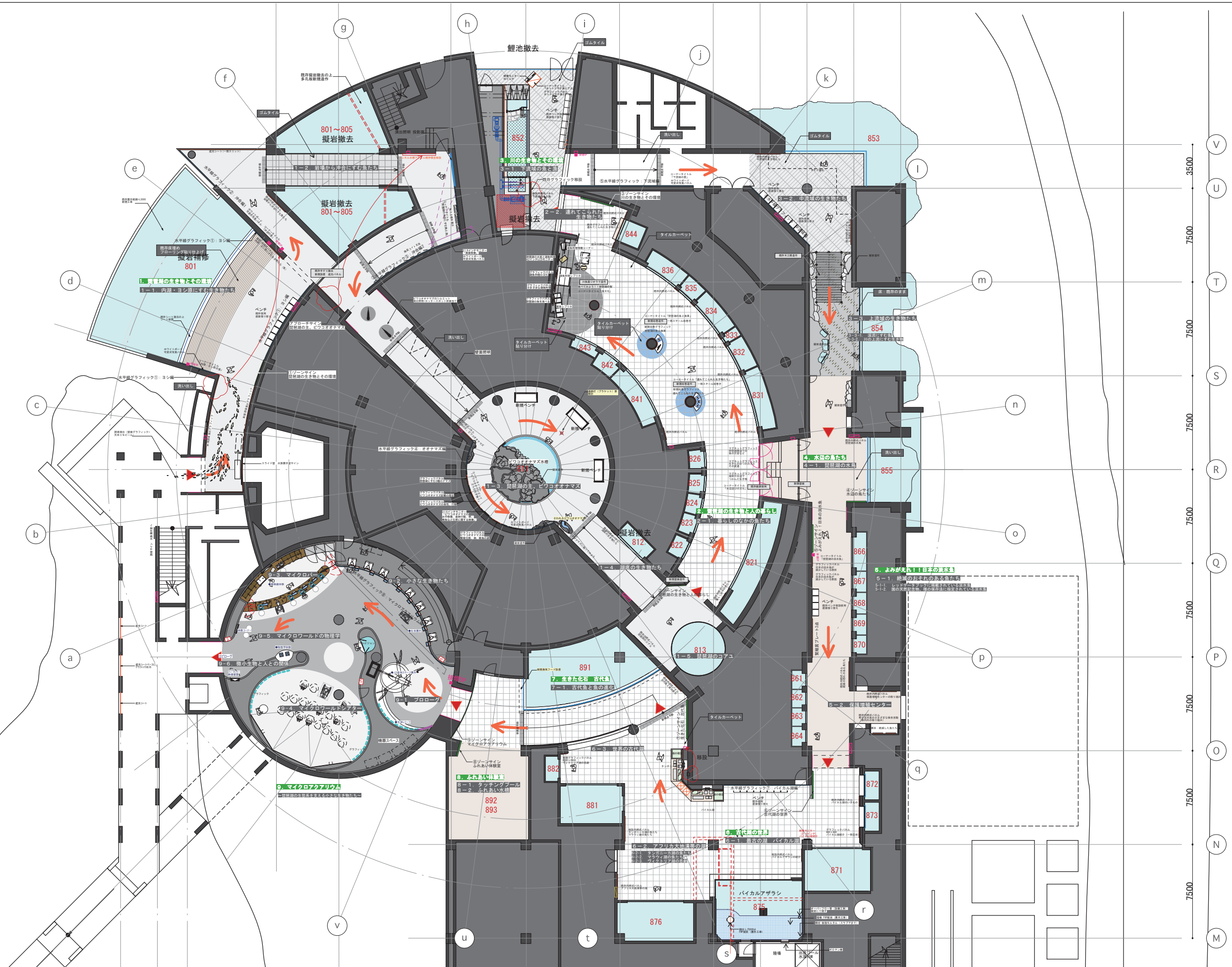
琵琶湖に生息する魚やザリガニを直接接触することができるコーナーで、「触る」という体験を通じて魚類や水辺の生き物を身近に感じてもらいます。

#### ⑨マイクロアクアリウム～琵琶湖の生態系を支える小さな生き物たち～

肉眼では見えないプランクトンなどの微小な生き物を顕微鏡や映像を用いて紹介し、小さな生き物が琵琶湖の生態系を支えていることを紹介します。







## 水族展示

---

### (4) 詳細図面およびイメージ図